

科目名称：	心理学（美術学科）	
担当者名：	柚木 颯憐	
区分	授業形態	単位数
基礎教育科目	講義	2
授業の目的・テーマ		
<p>私たちは「こころ」が人の日常生活・社会生活や対人関係に影響を与えていることは“なんとなく”わかっていますが、「こころ」とはどのようなものなのか？どこにあるのか？どのような性質をもっているのか？ということを説明することはできるでしょうか？本授業では、「こころ」に関して数多くの応用領域（すなわち臨床心理学や社会心理学などの〇〇心理学）をもつ「心理学」という学問の基礎について学ぶことで、「こころ」とは何かという問いかけに対し、科学的見地から説明できるようになることを目指します。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<p>①「こころ」について自らの言葉で説明できるようになるための基礎的な知識を習得する。  ②自分自身を心理学見地から理解できるようになる。  ③自分と他者、自分と社会との関係を心理学的見地から理解できるようになる。</p>		

基礎教育科目	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し他者との信頼関係を築いていくことができる。	○
DP(2)	様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化する社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	
DP(3)	専門的な知識や技能を修得し、それぞれの分野において、これらを柔軟に活用していくことができる。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP(1)	70		30		100
全学DP(2)					0
全学DP(3)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 臨床心理士	《経験年数1》 16年
	《内容2》 公認心理師	《経験年数2》 5年
	《内容3》 臨床神経心理士	《経験年数3》 1年
	《内容4》	《経験年数4》
備考		

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
専門知識の習得と活用	講義で得た知識を活用して自分の考えに反映させることができる	講義で得た知識を理解し物事を理解する際に応用できる	講義で得た知識を理解することができる	講義で得た知識の習得が不十分である

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 ころとは何か?心理学とは何か?	「ころ」とはどういうものか自分なりの考えやイメージをまとめておく	40分
第2回 行動・意識	自分の意識や行動がどこから生じ、どのように変容していくのかについて自分の考えをまとめておく	40分
第3回 ころの発達	人間の性質や特徴がいつどのように獲得されていくのかについて考えをまとめておく	40分
第4回 学習および条件づけ	レモンや梅干しを想像した時に生じる自分の反応を思い出し、なぜそのような反応が生じるのかについて考えをまとめておく	40分
第5回 記憶	これまでの体験を振り返り、どのように事物を記憶してきたのかを考え、自分にとっての最適な学習方法に関する考えをまとめておく	40分
第6回 知覚	外界を理解するために自分が見る・聞く・嗅ぐ・触る・味わうという感覚にどのくらい頼っているか自分の考えをまとめておく	40分
第7回 視知覚(視知覚に関するワーク)	錯視図形の例を事前に書籍やインターネット等で調べ、確認しておく	40分
第8回 言語	コミュニケーションにおける言語の意義について考えをまとめておく	40分
第9回 思考・推論(推論に関するワーク)	「りんご」を見たときになぜそれが「りんご」と認識するのか、自分なりの考えをまとめておく	40分
第10回 動機づけ	自分が苦手なことに対しどのようにモチベーションを高めるのか、これまでの自分の経験をまとめておく	40分
第11回 情動	恐ろしい体験をした時に生じる反応や行動について自分の考えをまとめておく	40分
第12回 個人差からみるころ	自分と他者との違いをどのようにして示すことができるのかについて、自分の考えをまとめておく	40分
第13回 対人関係からみるころ	人間関係を進展させるために必要な要因について、自分の考えをまとめておく	40分
第14回 集団・社会からみるころ	一人である時と集団にいるときの自分の意見・考えの違いに注目し、その違いはなぜ生じるのかについて、自分の考えをまとめておく	40分
第15回 ころと健康	自分がどのような出来事でストレスを感じ、ストレスによって生じる自らの反応についてこれまでの経験をまとめておく	40分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。  
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。

#### 成績評価の方法・基準

定期試験は、70%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。

提出物(毎回の授業に課すリアクションペーパー) 30%

#### 課題に対するフィードバック

リアクションペーパーについては、次回授業でコメントをフィードバックをしますので、授業理解度の参考にしてください。

#### 教科書・参考書

教科書:心理学[第5版 補訂版](東京大学出版会)教科書の該当ページを開きながら解説します。

参考書:参考資料やプリントを適宜授業内で配布・紹介することがあります。

※個人的にもっと学習したい方には以下を推奨いたします。ゼロからはじめる心理学・入門一人の心を知る科学(有斐閣ストゥディア)